



本件についての報道解禁は、令和8年（2026）5月12日0：00（日本時間）とさせていただきます。各社ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 北近畿西部の里山に生息するツキノワグマの食性を解明

— 秋の主食はドングリではなく「液果類」 —

— 大量出没年にはクリを利用 —

### 研究成果のポイント

- ✓ 日本の暖温帯域に生息するツキノワグマの食性に関する**国内初の定量的報告**です。
- ✓ 一般に秋季の主要採食物とされるドングリ（ブナ科堅果）ではなく、**液果類が主要な採食物**であることを明らかにしました。
- ✓ 大量出没年(2024年)には、カキ凶作の影響により**クリが主要採食物**となったことを示しました。

### 概要

国内におけるツキノワグマの食性研究は、これまで主に北日本および東日本の冷温帯域で実施されてきました。一方、西日本、とくに人里に近い暖温帯域に生息する個体群の食性については、定量的な報告がありませんでした。

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科の三國和輝氏（博士後期課程）、有働真氏（研究当時：博士前期課程学生、現・兵庫県庁）、藤木大介准教授、横山真弓教授、森光由樹准教授による研究グループは、兵庫県北部から京都府北部にかけて分布するツキノワグマ近畿北部西側個体群を対象に調査を実施しました。

その結果、暖温帯域の里山に生息するツキノワグマの秋季の主要採食物が、森林内の液果類であることを国内で初めて定量的に明らかにしました。

本研究成果は、日本哺乳類学会の国際学術誌『Mammal Study』に2026年5月12日付で掲載される予定です。

### 研究の背景

2000年代以降、ツキノワグマの個体数増加と分布域拡大により、人里周辺への出没が全国的に増加しています。2025年には東北地方で大量出没が発生し、236件の人身事故（うち死亡13件）が報告されました。

西日本では分布拡大が特に顕著で、2003～2017年の15年間で分布域は京都府で1.3倍、兵庫県で1.6倍、鳥取県で2.4倍、岡山県で2.8倍に拡大しています。

人との軋轢を軽減するためには、地域ごとの食性特性を把握することが不可欠です。しかし、暖温帯域の食性データはこれまで存在していませんでした。

## 研究の成果

---

本研究では4年間にわたり288個の糞を収集・分析しました。

その結果、

- ✓ 春：モウソウチクの筍など人為的食料への依存
- ✓ 夏～秋：カキへの依存
- ✓ 秋：ブナ科堅果への依存度は低く、アオハダ、ウラジロノキなどの液果類が主要採食物

であることが明らかになりました。

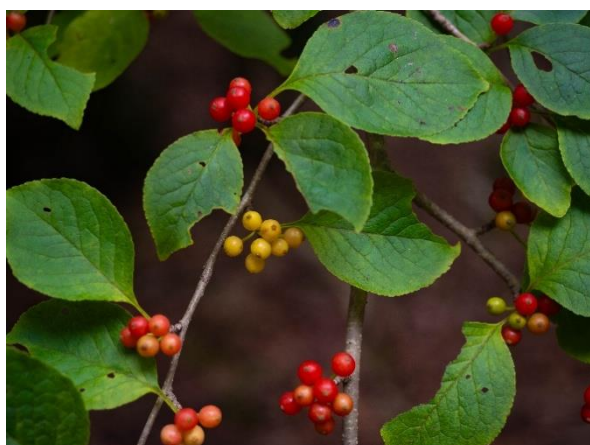


写真1 アオハダの液果



写真2 ウラジロノキの液果

さらに、年による変動も確認されました。

- ✓ 出没が少ない年：森林内の液果類を主に利用
- ✓ 出没が多い年：人里周辺のカキを利用
- ✓ 2024年（大量出没年）：カキ凶作のためクリが主要採食物

これらの結果から、

- ✓ 液果類は「基本的な主要採食物」
- ✓ カキは「代替採食物」
- ✓ クリは「さらなる代替採食物」

として機能している可能性が示されました。

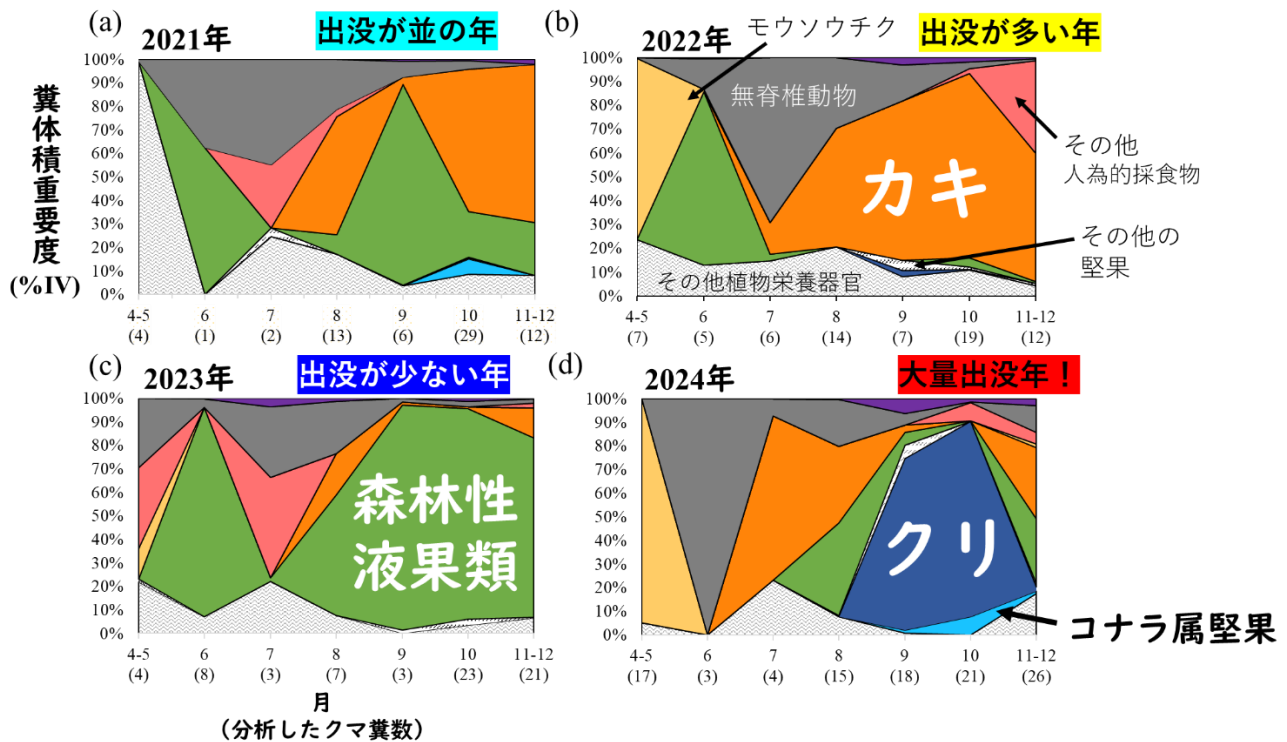


図1 2021年～2024年におけるツキノワグマ近畿北部西側個体群の糞内容物の変化

## 今後の展望

現在、秋季の出没予測は全国的にブナ科堅果の豊凶に基づいて行われています。しかし本研究により、地域によっては液果類の豊凶が出没を左右している可能性が示されました。

今後は液果類の豊凶観測を取り入れた地域特異的な出没予測モデルの構築が期待されます。また、西日本の他地域でも同様の食性特性が存在する可能性があり、さらなる研究の進展が望まれます。

## 論文情報

タイトル：Seasonal and Yearly variation of Food Habit for Asiatic black bears (*Ursus thibetanus*) in the Satoyama Landscape of the Warm Temperate Zone, Western Japan

著者：Kazuteru Mikuni, Makoto Udo, Mayumi Yokoyama, Yoshiki Morimitsu and Daisuke Fujiki

掲載誌：Mammal Study

URL： <https://doi.org/10.3106/ms2025-0045> (2026年5月12日公開)

## 謝辞

本研究は、日本学術振興会(JSPS)科学研究費(21K05672)、並びに環境省・(独)環境再生保全機構の環境研究総合推進費(JPMEERF20254M02)の支援を受けて実施しました。

## お問い合わせ先

---

<研究に関すること>

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授・藤木大介

電話：0795-80-5500 E-mail: [fujiki@wmi-hyogo.jp](mailto:fujiki@wmi-hyogo.jp)

<報道に関すること>

兵庫県立大学 社会貢献部 地域貢献課

TEL：078-794-6653

Email： [chiikikouken@ofc.u-hyogo.ac.jp](mailto:chiikikouken@ofc.u-hyogo.ac.jp)